

10月20日（月）

県の防災指導者をお招きして、6年児童が、防災についてのお話を聞き、AR体験、VR体験を行いました。

この授業は、「大人の学び場」として開講しており、地域の方も参加してくださいました。

授業の終わりには、子どもたちから「自分の部屋の家具の位置を見直したい。」「避難所に持って行くものは、生活に必要なものだけでなく、時間を過ごすための道具もいいんだとわかった。」「ハザードマップの見方がよくわかった。」「濁流の中で逃げるのは大変だから、その前に避難したい。」など具体的に実践的な感想が聞かれました。

これまでの防災の学習を関連付けながら、自分たちにできることを考えはじめています。



大きな地震が発生した状況を体験



浸水した場所から何とか脱出する体験



災害の恐ろしさを知り、自分たちにできることを考える。

